

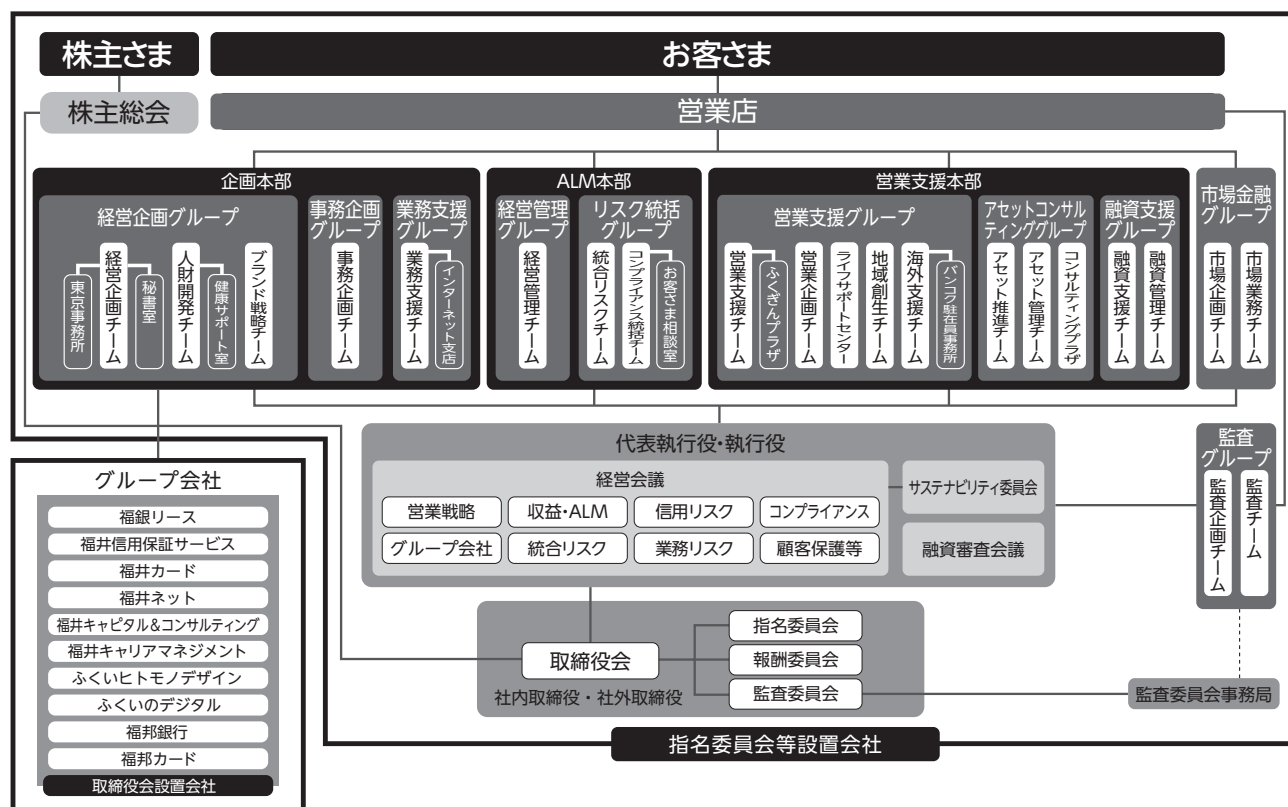
プロフィール (2023年3月末日現在)

名 称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank,Ltd.)	店 舗	／ 有人店舗数 68か店 店舗内店舗数 27か店 その他 3か店 合計 98か店
本店の所在地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号 電話 0776 (24) 2030 (代表) URL https://www.fukuibank.co.jp/		※店舗内店舗：他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他：振込専用支店、ジュラチック王国支店（インターネット支店）、小浜支店名田庄営業室（毎週水曜日（休祝日除く）のみ営業）
設立年月日	／ 1899年12月19日	店舗外自動機設備	56か所 (ATM運営会社・セブン銀行との共同設置を除く)
資本金	／ 179億65百万円		
従業員数	／ 1,276名 (出向者、嘱託および臨時職員含めず)		

主要な業務の内容

●預金業務	預 金…当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、財形預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。 譲渡性預金…譲渡可能な定期預金を取り扱っております。	●付帯業務 代理業務…①日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店および国債代理店業務 ②地方公共団体の公金取扱い業務 ③勤労者退職金共済機構等の代理店業務 ④株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 ⑤日本政策金融公庫および住宅金融支援機構等の代理貸付業務 ⑥信託代理店業務 ⑦保険代理店業務 保護預りおよび貸金庫業務 有価証券の貸付 債務の保証（支払承諾） 金の売買 公共債の引受 国債等公共債および証券投資信託の窓口販売 保険の窓口販売 クレジットカード業務 コマーシャル・ペーパー等の取扱い 金融商品仲介業務 M&A関連業務 確定拠出年金の運営管理機関業務 金利・通貨等のデリバティブ取引 相続関連サービスの媒介
●貸出業務	貸 付…手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。 手形の割引…商業手形、銀行引受手形および荷付為替手形の割引を取り扱っております。 電子記録債権の割引	
●商品有価証券売買業務	…国債等公共債の売買業務を行っております。	
●有価証券投資業務	…預金の支払準備および資金運用のための国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。	
●内国為替業務	…送金為替、振込および代金取立等を取り扱っております。	
●外国為替業務	…輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。	
●社債受託及び発行・支払代理人業務	…担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託および発行・支払代理人に関する業務を行っております。	

組織図 (2023年3月末日現在)



グループ会社 (2023年3月末日現在)

当行グループ（当行及び当行の関連会社）は、当行及び連結子会社10社、非連結子会社1社及び関連会社1社で構成され、銀行業務を中心に総合的な金融サービスの提供に係る事業等を行っております。

当行グループの事業に係る位置付けは次のとおりであります。

〔総合金融サービス業〕

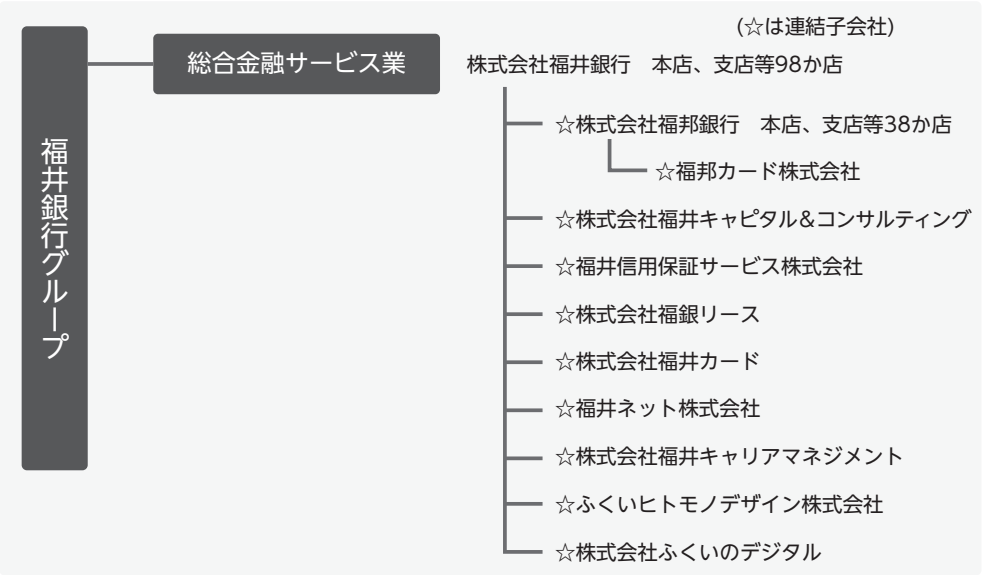
当行の本店、支店、出張所の98か店において、預金業務、貸出業務、内国為替業務、外国為替業務、国債・投資信託・個人年金保険等の販売業務等を行い、地域の金融パートナーとして、様々な商品・金融サービスの提供に積極的に取り組んでおり、当行グループの中心的業務と位置付けております。

連結子会社の株式会社福邦銀行においても、本店、支店の38か店において、預金業務、貸出業務、内国為替業務、国債・投資信託・個人年金保険等の販売業務等を行い、地域の金融パートナーとして、様々な商品・金融サービスの提供に積極的に取り組んでおります。

また、連結子会社の株式会社福井キャピタル&コンサルティング、福井信用保証サービス株式会社、株式会社福銀リース、株式会社福井カード、福邦カード株式会社、福井ネット株式会社、株式会社福井キャリアマネジメント、ふくいヒトモノデザイン株式会社、株式会社ふくいのデジタルにおいても、コンサルティング業務、投資事業組合財産の管理・運用業務、保証業務、リース業務、クレジットカード業務、当行のコンピュータ関連業務、労働者派遣業務、有料職業紹介業務、旅行業法に基づく旅行業務、地場産品・地域資源・地域ブランド品等の販売業務、スマートフォンアプリケーションソフトの企画・管理・運営業務等の総合金融サービス業務を展開しております。

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。

●事業系統図



●グループ会社の概況

名 称	所 在 地	資本金 (百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の 所有割合 (%)	名 称	所 在 地	資本金 (百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の 所有割合 (%)
(株) 福銀リース	福井市照手1丁目2番17号	50	リース業務	1983年9月16日	100.00	(株) 福井キャリア マネジメント	福井市順化1丁目1番1号	50	労働者派遣業務 有料職業紹介業務	2021年11月12日	100.00
福井信用保証 サービス (株)	福井市順化1丁目3番3号	50	住宅ローン等の保証業務	1982年11月6日	100.00	ふくいヒトモノ デザイン (株)	福井市順化1丁目1番1号	90	旅行業務 物品販売業務	2022年7月28日	100.00
(株) 福井カード	福井市順化1丁目3番3号	30	クレジットカード業務	1986年8月5日	100.00	(株) ふくいのデジタル	福井市順化1丁目1番1号	100	アプリの企画・ 管理・運営業務	2022年9月5日	50.00
福井ネット (株)	福井市春日町238番3号	40	コンピュータ関連業務	1997年4月21日	100.00	(株) 福邦銀行	福井市順化1丁目6番9号	9,800	銀行業務	1943年11月5日	57.88
(株) 福井キャピタル& コンサルティング	福井市順化1丁目1番1号	50	ベンチャーキャピタル業務 コンサルティング業務	2015年7月1日	100.00	福邦カード (株)	福井市順化1丁目3番3号	30	クレジットカード業務	1990年5月31日	(57.88)

(注)「議決権の所有割合 (%)」欄の () 内は、間接所有の割合 (内書き) であります。

安心と信頼

みなさまから安心・信頼される銀行をめざして

福井銀行の実績と取組み

内部統制の整備の状況

福井銀行では、取締役会において、会社法に基づく業務の適正を確保する体制として、監査委員会の職務執行のために必要な事項、執行役の職務執行の適法性・適正性を確保するために必要な体制等について決議し、内部統制を確保する体制を整備しております。

また、金融商品取引法で求められる財務報告に係る内部統制については、「財務報告に係る内部統制の基本方針」および「財務報告に係る内部統制規程」を制定し、財務報告の信頼性の確保に努めております。なお、2023年3月末時点における当行の財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

コンプライアンス（法令等遵守）体制

コンプライアンス基本方針

福井銀行では、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底を最重点施策と位置付け、「コンプライアンス基本方針（5つの原則）」を取締役会にて決定し、確固たる「コンプライアンス態勢」の維持向上に積極的に取り組むことを企業文化としております。

- 「コンプライアンス基本方針」
 1. 自己コントロール能力向上の原則
 2. 情報開示の原則
 3. 透明で適正な意思決定の原則
 4. お客さま本位の営業の原則
 5. 反社会的勢力との断固対決の原則

コンプライアンス体制

頭取を統括責任者とし、「経営会議」において重要事項の審議、決定および報告を行うとともに、コンプライアンス態勢の実効性を評価し、問題点を改善しております。

また、コンプライアンス体制を規定し、守るべき法令や行動規範および対応等を「コンプライアンスマニュアル」に示し、「コンプライアンス・プログラム（具体的な実践計画）」を毎年策定し実践しております。

具体的な取組み

営業店・本部の全部署にコンプライアンス責任者・担当者を任命し、全職員に対してコンプライアンスチェックリストによる遵守状況の自己検証、コンプライアンス責任者・担当者による個人面談と勉強会を定例的に実施し、コンプライアンス意識の醸成と向上を目指した取組みを行っております。

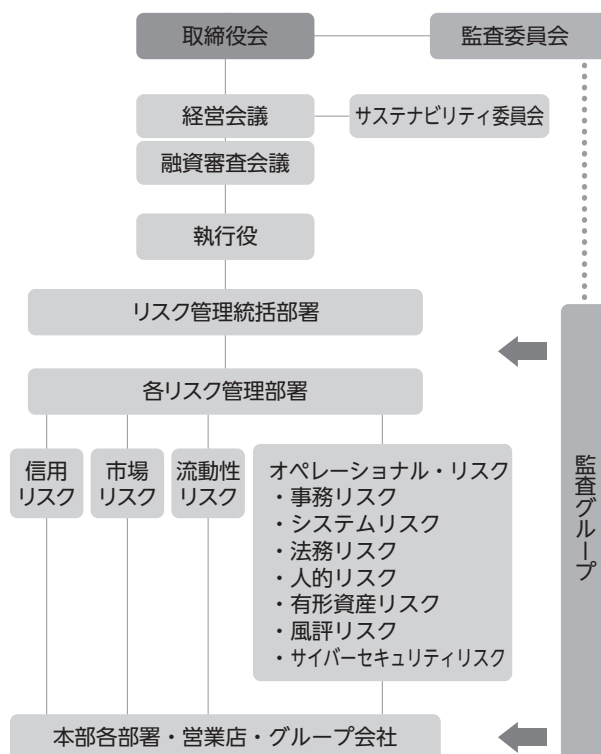
リスク統括グループコンプライアンス統括チームを統括部署として、コンプライアンスに関する情報の一元管理を行い、コンプライアンス違反の未然防止と態勢の強化を図っております。

また、公益通報者保護法に則った「相談・報告制度」を整備し、行内窓口以外にも顧問弁護士による外部の通報窓口やハラスメント相談窓口を設置することで、組織の自浄機能を高めております。

さらに、暴力団をはじめとする反社会的勢力との関係遮断や取引解消を行っていくことやマネー・ローンダリング等を防止していくことは、企業としての社会的責任を果たし、また、各ステークホルダーからの信頼を維持し、経営の健全性を確保していくためには必要不可欠なものと考え、「内部統制システムの基本方針」および「コンプライアンス基本方針」等に基づき、反社会的勢力への各種対応やマネー・ローンダリング等防止にかかる各種対策を実施しております。

リスク管理体制

金融情勢が変化し、銀行が抱える各種リスクも多様化・複雑化するなか、経営の健全性および収益の安定性を確保していくために、当行グループはリスク管理態勢の強化を重要な経営課題として位置付け、継続的に態勢整備を実施しております。具体的にはリスクの統括部署およびリスクカテゴリーごとにリスク管理部署を設置し、管理プロセスを確立させ、継続的かつ効果的なリスク管理を実施しております。



リスク管理の基本方針

当行グループでは、取締役会で決定した「リスク管理の基本方針」に、以下の基本方針を定めております。

当行は、収益機会の獲得および拡大につながるリスクを適切にとりながら収益力の強化に努めると同時に、経営体力を損ねることのなきよう適切なリスク管理に努め、地域における金融システムの担い手として健全かつ収益力の高い経営を行わなければならない。

その実現のために、個々のリスク管理の態勢整備に加え、それらを統合的に把握し管理する統合的リスク管理の態勢整備を行うことを通じて、業務の健全性および適切性の確保を行うことをリスク管理の基本方針とする。

統合的リスク管理

「統合的リスク管理」とは、各種業務で発生する様々なリスクをその要因別に「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」「オペレーショナル・リスク」等のカテゴリー毎に評価し、それらを総体的に捉えたうえで、経営体力と比較・対照することで自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当行グループでは、VaR（バリュー・アット・リスク）を用いて各リスクを計量化し評価・コントロールする「量的管理」と、VaRによらない個別の方法で各リスクを質的に評価・コントロールする「質的管理」の両方を行うことで、統合的なリスク管理を行う態勢を整えております。

「量的管理」では、リスク資本制度に基づいて「経営会議」でリスクカテゴリー別に配賦する資本額（リスク資本）の決議を行い、その範囲内にそれぞれのリスク量（VaR）をコントロールすること

で、全体のリスクを経営体力の範囲内におさめる「統合リスク管理」の手法を用いております。

なお、金利リスクは一般的には市場リスクの中に含まれるものですが、当行グループではその運用・調達目的の違いを考慮し、有価証券勘定の金利リスクと預貸金勘定の金利リスクに分けた管理を行い、預貸金勘定の金利リスクは独立してリスク資本を配賦する方法を採用しております。

信用リスク管理

「信用リスク」とは、信用供与先の信用状況の悪化により、銀行の資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、信用リスクは業務運営において不可避のリスクであり、かつ迅速な対応が必要であることを十分認識した上で、信用リスクをコントロールできる態勢を築くことを目指しております。とりわけ、与信集中リスクについては、信用リスクの集中を回避し、バランスのとれた与信ポートフォリオを構築するため、「与信集中リスク管理基準」を制定し、与信集中リスクの把握・改善に取り組んでおります。

また、信用供与にかかるリスクを客観的かつ計量的に把握するため、「信用リスク計測基準」を制定し「信用リスクの計量化」に取り組んでおります。

なお、計測した信用リスク量については信用格付別・業種別・地域別などの信用リスクの状況を評価・分析するとともに、「リスク資本制度」のもとでリスク量による量的な管理、コントロールを行っております。

市場リスク管理

「市場リスク」とは、金利、為替、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいい、主として「金利リスク」「為替リスク」「価格変動リスク」があります。

当行グループでは、市場リスク管理をALM（資産・負債の総合的管理）の一環として位置付け、自己資本、収益力、預貸動向や有価証券保有状況等を踏まえたうえで、リスクとリターンのバランスを適切に保つことを方針としております。

具体的には、預金、貸出金、有価証券等の資産・負債について銀行勘定の金利リスクに基づき、金利リスク量をコントロールしております。市場投資部門における市場リスクについては、半期毎に「経営会議」において「有価証券運用計画」を審議したうえで、ポジション枠や損失限度を設定することで市場リスク量を一定の範囲内にコントロールしております。

また、市場関連取引の相互牽制のために、市場リスクの管理部署（ミドル・オフィス）は、フロント・オフィス、バック・オフィスとは組織的に分離し、日次でリスクの状況をモニタリングしております。

流動性リスク管理

「流動性リスク」には、①運用と調達の期間のミスマッチや予期せぬ資金の流出により必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクである「資金繰りリスク」、②市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすることにより、損失を被るリスクである「市場流動性リスク」、③対外決済において資金または資産を予定通り受け取れなくなるにより損失を被るリスクである「決済リスク」が含まれます。

流動性リスクは、これら資金繰りリスク、市場流動性リスク、決済リスクの3つのリスクを総合したリスクですが、市場流動性リスク、決済リスクは最終的に資金繰りリスクに帰結するものであり、資金繰りリスクの管理が重要な経営課題であると捉えております。

当行グループでは、組織的に独立したフロント・オフィス、バック・オフィス、ミドル・オフィスを設置することで、相互牽制を図りながら資金繰りリスクの管理を行っております。

具体的には、資金繰りの状況に応じて、「平常時」「懸念時」「危機時」の区分を設定し、それぞれの区分に応じた管理手法、報告体制、決裁方法を整備しております。また、短期間で資金化可能な資産を一定額以上確保する流動性準備高の管理を通じたモニタリングを行っております。

オペレーショナル・リスク管理

「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務のプロセス、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または、外部で発生した出来事等により、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、オペレーショナル・リスクを①事務リスク、②システムリスク、③法務リスク、④人的リスク、⑤有形資産リスク、⑥風評リスク、⑦サイバーセキュリティリスクの7つに分類して管理しております。

当行グループでは、オペレーショナル・リスクの増加が、銀行業務の堅確性を低下させ、ひいては株主のみならず、お客さまの当行グループへの信頼を低下させるものであるとの認識に立ち、リスク発生の未然防止および発生時の影響極小化に努めております。

なお、オペレーショナル・リスク相当額の算出には「基礎的手法」を採用しております。

<事務リスク管理>

「事務リスク」とは、福井銀行の役職員が正確な事務を怠ること、あるいは事務処理の遂行の過程で不正行為を犯すことや事故を起こすことにより、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、事務管理態勢の充実強化を図り、厳正に事務を行うための内部環境の整備に取り組んでおります。

具体的には、以下のような枠組みにより事務リスクの管理を行っております。事務ミス情報、事務事故情報、内外監査等の指摘内容、CSA（Control Self Assessment）の実施、およびリスクに関する主な指標の収集を行い、傾向分析、原因分析を行っております。分析結果に基づき、リスク軽減のための対策を検討し、事務フロー・事務処理規程・事務体制面の見直し、事務指導臨店、自店検査、教育・研修、事務機器の整備、システム化、営業店事務の本部集中化、ルール遵守の徹底などを行っております。

事務リスクの管理状況については、オペレーショナル・リスクの総合的管理部署、担当執行役および経営会議等に報告しております。

<システムリスク管理>

「システムリスク」とは、コンピュータシステムのダウンまたは誤作動等システムの不備等に伴い損失を被るリスク、コンピュータシステムが不正に使用されることにより損失を被るリスクをいいます。

お客さまに質の高い金融サービスを提供していくためには、これらのシステムリスクを回避し、コンピュータシステムを安全かつ安定して稼働させることが必要不可欠であり、当行グループでは、コンピュータシステムと保有する情報の適切な保護に努めております。

具体的には、主要機器およびネットワークに関しては常時稼働監視を行っており、障害発生時には自動的にバックアップに切替えるなど、ソフト面ハード面の両面での対応を実施しております。

今後も情報技術の高度化やネットワークの拡大に伴い、システムリスクの多様化・複雑化が予想されますが、引き続き適切な対策を講じることにより、コンピュータシステムの安全で安定した稼働に努めてまいります。

<法務リスク管理>

「法務リスク」とは、法令等の遵守状況や顧客保護等が十分でないことにより損失を被るリスク、訴訟等への対応が不十分なことにより損失を被るリスク、およびこれに類するリスクを指します。

当行グループでは、法令等遵守態勢の整備、お客さまからのご意見を適時・適切に反映させる仕組みを通じた顧客保護等管理態勢の整備と、これら態勢整備にかかる検証を通して、態勢不備に起因する事象、損失、損害の迅速かつ適切な把握・分析を行い、法務リスクの削減に努めております。

<人的リスク管理>

「人的リスク」とは、報酬・手当・解雇等、人事運営上の不公平・不公正から発生する問題により、損失・損害を被るリスクを指します。

当行グループでは、人事運営上の不公平・不公正に基づく問題が発生することがなきよう、労務関連法規・法令を踏まえた人事制度の設定および運用を通して、適切な労務管理・人員配置・研修・教育を継続的に実施し、人的リスクの削減に努めております。

<有形資産リスク管理>

「有形資産リスク」とは、地震、豪雨、豪雪などの災害等により、有形資産に毀損・損害が生じるリスクを指します。

当行グループでは、災害等に起因する損害を最小限に抑えるために、内外の情報に基づき災害等の有形資産への影響を把握・分析することに努め、適切な保守・投資を継続的に実施し、資産の耐久性を保持することで、有形資産リスクの削減に努めております。

<風評リスク管理>

「風評リスク」とは、評判の悪化や風説の流布などで信用が低下することにより、損失・損害が生じるリスクを指します。

当行グループでは、適切な情報開示の実施により経営の透明性を確保するとともに、本部と営業店との間の迅速な指示・連絡体制の確立を通して、風評リスクの削減に努めております。

<サイバーセキュリティリスク管理>

「サイバーセキュリティリスク」とは、情報通信ネットワークや情報システム等の悪用により、サイバー空間を経由して行われる不正侵入、情報の窃取、改ざんや破壊、情報システムの作動停止や誤作動、不正プログラムの実行やDDoS 攻撃等の、いわゆる「サイバー攻撃」により、サイバーセキュリティが脅かされるリスクをいいます。

当行グループでは、サイバー攻撃によるお客さまへの被害を防止し、安定したサービスを提供するため、サイバーセキュリティ管理態勢を構築し、サイバー攻撃に備えたセキュリティ対策、及びサイバー攻撃を受けた場合の被害の拡大防止に努めてまいります。

危機管理計画

銀行は、金融サービスの提供という社会機能維持に関わる事業者としての使命を有しております。福井銀行では、大規模災害等の危機発生時において、金融システム機能の維持に必要な業務の継続や早期再開を可能とするため、「危機管理計画」を策定しております。「危機管理計画」では、「常に人道的配慮を最優先に考えて行動する」「金融システムの維持に努めることにより、金融機関としての社会的責任を果たす」「地域社会や地域経済の早期の安定と回復に貢献する」ことを基本理念に掲げ、必要な体制整備を行うと同時に、定期的に訓練を実施するなど危機対応力の強化に努めております。

金融商品勧誘方針

福井銀行では様々な取扱金融商品の勧誘・販売にあたり、金融商品販売業者として遵守すべき「金融商品勧誘方針」を定め、店頭・ホームページに公表しております。

より一層のお客さまの福井銀行に対する信頼と金融商品に対するご理解をいただけるよう、「金融商品勧誘方針」を遵守した営業に努めております。

- わたしたちは、お客さまの知識、経験、財産の状況に照らし、また、お客さまの投資目的、運用期間などを十分考慮のうえ、適切な商品をお勧めいたします。
- わたしたちは、お客さまとお取引を行う際には、商品内容やリスク内容等について適切な説明や情報の提供に努め、不確実な事項について断定的判断を提供することや確実であると誤認させるおそれのあるような説明はいたしません。

- わたしたちは、お客さまの誤解を招くような勧誘や、不退去などの迷惑行為を行いません。また、お客さまの希望や理解がない限り、お客さまにご迷惑となる時間帯や場所での勧誘を行いません。

- わたしたちは、お客さまに対して適正な勧誘を行うため、行内研修体制を充実させ、商品知識の研鑽に努めます。

お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口または下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

保険募集指針

福井銀行では、お客さまの幅広いニーズにお応えしていくために、生命保険・損害保険の取扱いを行っております。

お客さまに対して保険商品をお勧めする場合には、各種法令等を遵守し、公正な保険募集に努めております。

<1. 当行が募集を行う保険商品について>

- 当行が保険募集を行う際には、保険商品の引受保険会社名をお客さまに明示いたします。
- お客さまにお勧めする保険商品と同一種目の保険商品を当行が複数取扱いしている場合には、その商品名称や引受保険会社名についての情報を当該保険の保険募集時にご提供いたします。
- 保険契約はお客さまと保険会社とのご契約となることから、保険契約の引受や保険金等の支払は、保険会社が行うこと等を保険募集時に説明いたします。
- 引受保険会社が経営破綻した場合の取扱い等保険契約に関するリスクについても、保険募集時に説明いたします。

<2. 保険募集に関する当行の責任について>

- 当行では、保険募集に際しては、各種法令や監督指針等の遵守に努めております。
- 万一、説明義務違反等の法令等に違反する保険募集を行ったことにより、お客さまに損害が生じた場合には、当行が募集代理店としての販売責任を負います。

<3. ご契約後の当行対応について>

- 当行は、お客さまからの契約内容のご照会、保険募集に関する苦情・相談に対し、迅速かつ適切に対応いたします。
- ご相談の内容につきましては、当該保険契約の引受保険会社に連絡のうえ対応させていただく場合があります。また、保険金等の支払手続きに関する照会等を含む各種手続き方法につきましては、引受保険会社のコールセンター等をご案内させていただく場合があります。
- 保険募集時のご説明内容やご契約締結後におけるお客さまからの苦情・ご相談に関する面談記録等をご契約期間中にわたって適切に管理し、お客さまのご要望にお応えできるよう努めて参ります。
- お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口または下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

- 募集代理店である当行が契約している銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関は、一般社団法人全国銀行協会です。

連絡先 全国銀行協会相談室
電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

利益相反管理基本方針

福井銀行では、福井銀行または福井銀行のグループ会社による取引に伴いお客さまの利益が不当に害されることのないよう「利益相反管理基本方針」を定め、利益相反の管理を適切に行っております。「利益相反管理基本方針」の概要はホームページに公表しております。

契約している銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関

福井銀行では、銀行に対する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付ける下記の銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関と契約しております。

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室

電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

お客さま本位の基本方針

Fプロジェクトは、福井銀行・福邦銀行が、それぞれの理念のもと、お客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において、『Fプロジェクト「お客さま本位の基本方針」』（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

1.お客さま本位の業務運営の堅持

基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。

2.お客さまの最善の利益の追求

金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、お客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3.お客さまの最善の利益の優先の確保

お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4.お客さまからいただく手数料等の明確化

金融商品やサービスのご提供にあたり、お客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧に説明することに努めてまいります。

5.お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供

金融商品やサービスにおける基本的な利益・損失その他のリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件や、ご提案する金融商品やサービスの販売対象となるお客さまの特徴、選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、各種資料を活用してお客さまが誤解無くご理解いただけるように、分かりやすく丁寧に説明しご提供することに努めてまいります。

6.お客さまにふさわしいサービスのご提供

お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが本当にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、お客さま意向に基づくアフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。

7.お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

反社会的勢力への対応にかかる基本方針

福井銀行グループは、反社会的勢力に対して毅然とした態度で臨み、決して妥協しないことを基本姿勢として、全役職員がこれを守ります。

- 1.反社会的勢力に対しては、一切の関係・取引を遮断します。
- 2.反社会的勢力からの不当要求に対しては、すべて拒絶します。
- 3.反社会的勢力に対しては、警察等の外部専門機関と連携し、組織一体となって対応します。
- 4.反社会的勢力に対しては、民事・刑事の法的対応も辞さない毅然とした対応を行います。

また、次の行為に関しては、常にその行為を厳しく監視し、これらの行為があった場合には直ちに警察へ通報いたします。

- 1.脅迫または威圧による要求行為
- 2.反社会的勢力またはこれを背景とした者による執拗な要求行為
- 3.面接、交渉等を拒絶してもなお退去しない行為
- 4.その他の強要、あるいはそれに準じる行為

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組状況

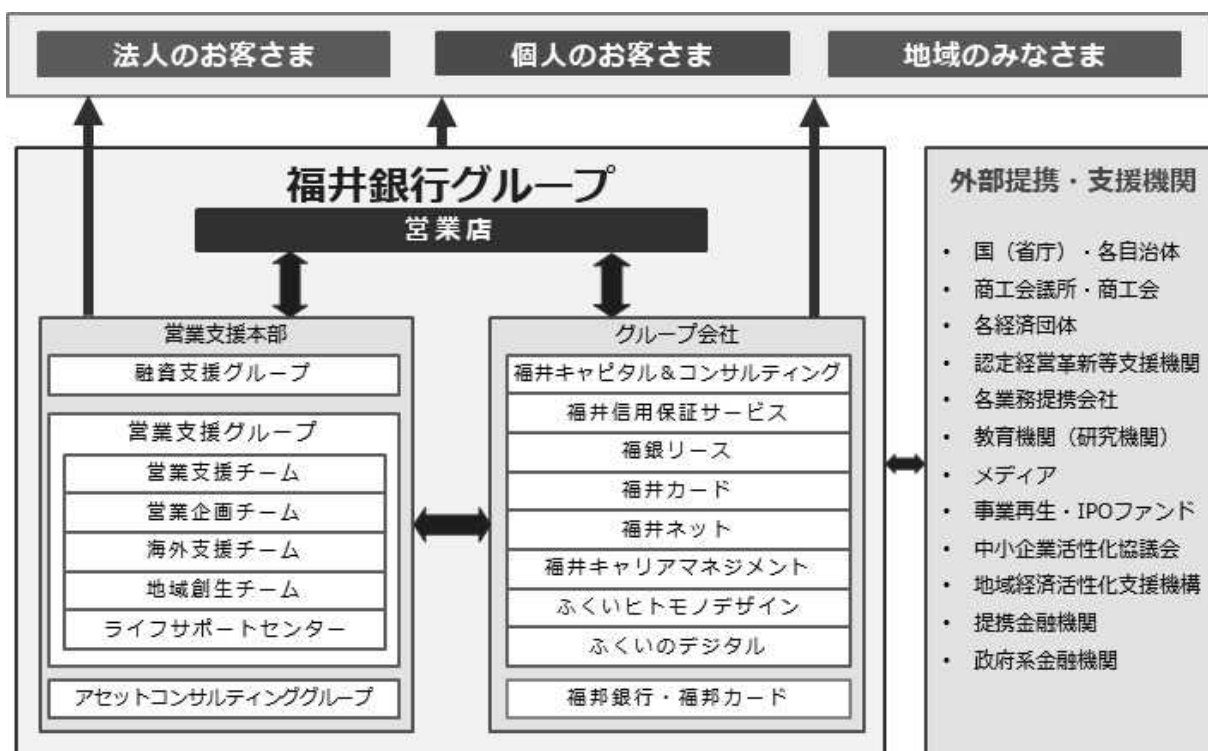
福井銀行と福邦銀行は、両行の新しい金融グループ「Fプロジェクト」により、地域マーケットでの存在感の高まりとともに、地元中小企業への経営支援に関するさらなる取り組みが期待されています。

福井銀行の中小企業の経営支援に関する取組方針は、金融グループ「Fプロジェクト」として、地域やお客さまの多様なチャレンジに伴走し、「地域価値循環モデル」を実現することです。グループ職員一人ひとりがお客さまのチャレンジに寄り添い、より効果的なコンサルティング機能を発揮することで、地域やお客さまの課題解決とさらなる成長、資産形成の支援に取り組んでいます。

今後も引き続き、これまで培ってきた幅広いネットワークの活用や質の高いサービスを提供する態勢を進化させ、福井銀行グループがもつ強みやノウハウを融合し、お客さまの課題解決を支援してまいります。

態勢整備の状況

営業支援本部とグループ会社、および営業店が一体となって「地域価値循環モデル」の実現に向け、営業活動に取り組んでいます。グループ全体での総合コンサルティング機能発揮のため、お客さまのこれまで以上に幅広い課題に対し、本部・グループ会社の高い専門性を最大限発揮できる態勢を構築しました。



新型コロナウイルス関連支援

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、お客さまの事業継続を支援するため、お客さまの課題を的確に捉え、適切な解決策の提供に取り組んでいます。

支援・解決策の提供	
お客さまへの影響把握	●本感染症による影響や事業継続のための課題を把握 ●「新型コロナウイルス関連資金繰り相談窓口」の設置
資金支援	●制度融資等を活用した緊急的な資金支援 ●新型コロナウイルス感染症関連制度融資の据え置き期間到来に備えた条件変更、借換対応 ●各省庁や自治体による助成金や給付金の活用支援
本業支援	●オンラインによる各種相談会・セミナーの開催 ●販売先や仕入先の開拓・マッチング ●海外への展開・事業継続支援

中小企業の経営の改善に関する取組状況

お客さまの経営課題を営業店と本部およびグループ会社が共有・連携し、課題解決のための最適な資金支援、本業支援に努めています。

創業・新規事業開拓支援

創業期のお客さまには、専用融資商品の導入、グループ会社や外部機関との連携、セミナー開催を通じた情報提供などにより、支援の強化に取り組んでいます。

支援先数	49 先
------	------

(2022 年度中)

成長支援

成長期、安定期のお客さまには、グループ会社や外部機関とのネットワークを活用したビジネスソリューションの提供、国内外の商談会やセミナーの開催を通じたビジネスマッチングの機会や情報の提供、専担部署の帯同訪問や情報提供による海外ビジネスサポートなどにより、支援の強化に取り組んでいます。

ソリューション提案先数	3,328 先
-------------	---------

(2022 年度中)

○ビジネスマッチング・商談会の開催

本部・グループ会社の専門担当者がお客さまのニーズに対し、最適なマッチング先を選定し、ご紹介から商談成立まで支援しています。

マッチング成約・商談会参加先数	120 先
-----------------	-------

(2022 年度中)

○IT・デジタルの活用

・法人取引先向け IT コンサルティング

法人のお客さま向けの IT コンサルティングは、お客さまと一緒に業務フローを整理し、課題を洗い出し、解決策を導き出す取組みです。お客さまの課題に合わせた解決策と一緒に模索し、提案することで、より IT ツールの導入効果を高めています。今年度からお客さまからのニーズの高い支援に関してパッケージ化を進め、短期間かつ低額での導入支援も行っています。

主な導入支援ツール

勤怠管理システム・売上管理システム・案件管理システム

支援件数	60 件
------	------

(2022 年度中)

○海外ビジネスサポート

県内企業のグローバル化が進むなか、経済成長を続ける中国、東南アジアを中心とする海外市場の取り込みは重要となっています。当行は、海外駐在経験を有する専門担当者が海外拠点と連携し、海外での事業拡大に向けた幅広い支援に取り組んでいます。

支援件数	148 件
------	-------

(2022 年度中)

・越境 EC を活用した販路開拓支援

当行グループ会社の福井キャピタル&コンサルティングが福井県事業「越境 EC を活用した中国における福井県産品販路拡大事業」を受託しています。

また、越境 EC プラットフォーム『Zen Plus』を展開している Zen Group 株式会社と業務提携し、越境 EC を活用したお客さまの海外向け販路開拓を支援しています。

Zen Plus 出店先数	18 先
---------------	------

(2022 年度中)

・商談会の開催

海外バイヤーに福井県の魅力的な商品を認知していただき、販路拡大につなげる機会を提供しています。

参加先数	22 先
------	------

(2022 年度中)

・海外人材採用・人材育成

海外での事業展開には、各国の事情に精通したスタッフを確保することが欠かせません。当行は、各団体や大学と連携し、外国人留学生の採用や育成に向けたサポートを行っています。

合同企業説明会参加先数	12 先
-------------	------

(2022 年度中)

○リース活用

当行グループ会社の福銀リースと連携し、リースを活用した設備導入・入替を支援しています。

支援件数	862 件
------	-------

(2022 年度中)

○補助金・助成金活用

当行は、「よろず支援拠点」などの外部専門機関と連携し、お客さまの事業の成長に向けて、ニーズにあった補助金・助成金に関する情報提供から申請手続きまでトータルで支援しています。

補助金は申請から採択・補助金の受領までタイムラグがあります。当行は、補助金を受領するまでの期間のつなぎ資金にも対応しています。

支援件数	63 件
------	------

(2022 年度中)

○SDGs 経営・脱炭素経営関連支援

国連が提唱する持続可能な開発目標 SDGs や脱炭素は今やビジネス世界の共通言語となっています。SDGs や脱炭素への取組みがお客さまの事業拡大やビジネスチャンスの拡大につながると考え、地元企業の SDGs 経営・脱炭素経営への取組みを支援しています。

SDGs 私募債引 SDGs 経営支援サービス GHG 排出量算定コンサルティング	214 件
---	-------

(2022 年度中)

○法人保険

お客さまの事業を継続する上でのさまざまなリスクに備えるため、当行の専門担当がお客さまのライフステージや経営環境に寄り添った法人保険のトータルプランニングを行っています。

支援件数	53 件
------	------

(2022 年度中)

○人材紹介・人材育成

近年、有効求人倍率は高いレベルで推移しており、福井県内においても人材に紐づく経営課題が多様化しています。経営幹部等のハイレベル人材やワーカー層の求人ニーズに加え、副業・兼業による専門人材ニーズも増加しています。

人材紹介に係るノウハウと情報を集約した福井キャリアマネジメントを中心に、提携人材紹介会社連携による外部人材活用や当行グループ OB・OG 人材の紹介を通して、地域のお客さまの経営課題解決と持続的成長を支援することで地域経済の活性化に貢献してまいります。

求人取得件数	399 件
--------	-------

(2022 年度中)

・先導的人材マッチング事業の取り組み

当行と福井キャリアマネジメントおよび福邦銀行は、内閣府が実施する地方創生支援事業（先導的人材マッチング事業）の間接補助事業者に採択されており、3 社共同で本事業に取り組んでいます。

申請承認件数	43 件
--------	------

(2022 年度中)

事業承継支援

お客さまの永続的な発展・存続を実現するため、後継者問題等の課題や事業拡大ニーズを有する取引先企業に対して、ノウハウを集約した本部・グループ会社の専担部署が中心となり、事業承継支援（自社株評価や株式承継対策を含めた支援）の強化をすすめています。

○事業承継コンサルティング

会社の「事業（経営）」と「自社株式」を円滑に“後継者”へ引き継ぐ事業承継は、会社が永続的に発展するための重要な課題です。当行はお客さまの円滑な事業承継を全力で支援しています。

支援件数	86 件
------	------

(2022 年度中)

○M&A コンサルティング

M&A で解決できる経営課題は多岐にわたります。当行がもつノウハウやネットワークを活かしながら、事業の発展につながる M&A 活用を提案、支援しています。

支援件数	161 件
------	-------

(2022 年度中)

経営改善支援

成長鈍化期や再生期のお客さまの事業継続を実現するため、事業性理解による経営課題の明確化や解決策の提供に取り組んでいます。

○経営改善コンサルティング

経営改善に向けた計画策定から達成のためのフォローまで当行の専門担当がトータルサポートします。また、中小企業活性化支援協議会、地域経済活性化支援機構（REVIC）などの外部支援機関を活用し、お客さまに最適な経営改善策の提供や事業再生に取り組んでいます。

・副業人材マッチングサービス「ふくシヨク」

株式会社福井新聞社、株式会社みらいワークスと連携し、副業人材マッチングサービス「ふくシヨク」を提供しています。お客さまの副業求人情報を両社の運営するサイトに掲載し、都市部の副業人材と県内企業のマッチングをワンストップでサポートできるサービスです。

ふくシヨク活用先数	13 先
副業人材活用者数	15 名

(2022 年度中)

○経営者保証ガイドラインへの取り組み

「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に努めています。

新規融資件数	3,413 件
うち無保証融資件数	1,318 件
経営者保証に依存しない融資割合	38.6%

(2022 年度中)

事業承継支援取り組み強化を目的に、専門資格保有者の育成に努めています。

M&A シニアエキスパート取得者	10 名
事業承継シニアエキスパート取得者	3 名
事業承継・M&A エキスパート取得者	267 名

(2023 年 3 月末)

地域の活性化のための取組状況

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行い、産学官連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化に向けて積極的に取り組んでいます。

○地方公共団体との主な連携と協働

福井市	福井駅前周辺再開発
あわら市	芦原温泉駅周辺整備 あわら坂井ふるさと創造協議会（アズ AS☆）
坂井市	三國湊の町家活用
勝山市	長尾山総合公園整備
越前市	越前たけふ駅周辺開発
敦賀市	敦賀駅西口整備
美浜町	美浜道の駅整備事業
小浜市	まちづくり会社、REVIC、フィッシャーマンズワーフ

○「ふくいヒトモノデザイン株式会社」設立

「他業銀行業高度化等会社」の許認可を取得し、2022 年 7 月に当行の全額出資による子会社ふくいヒトモノデザイン株式会社を設立しました。

これまで培ってきた地域のネットワークを活用し、福井県内の観光地や地場産品などの地域資源の魅力・価値を高める観光事業および物販事業を行うことで、2024 年の北陸新幹線の開業、2026 年の中部縦貫自動車道の開通に向けて、地域経済の活性化に貢献してまいります。

○ファンドを活用した取組み

グループ会社である株式会社福井キャピタル&コンサルティングが共同もしくは単独で運営するファンドを通して、出資や優先株引受け等の資金提供のほか、お客さまへのハンズオン支援により地域の活性化やお客さまの成長支援に取り組んでいます。

ふくい未来企業支援ファンド ふくい地域活性化ファンド 現在投資先数	7 先
---	-----

(2022 年度中)

デジタル社会への対応

当行は、福井県におけるデジタル社会の実現に向け、様々な取組みを進めています。



○福井銀行アプリのリニューアル

2022 年 11 月にスマートフォン向けアプリをリニューアルしました。インターネットバンキングとの親和性を高め、アプリ内で振込・振替などが完結できるようになりました。お客さまにとって使いやすく・より便利なサービスを提供します。

福井銀行アプリ

福井銀行アプリ・ インターネットバンキング登録数	168,575 先
-----------------------------	-----------

(2023 年 3 月末)

○「株式会社ふくいのデジタル」設立

地域のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を目的に、2022 年 9 月に株式会社福井新聞社と共同で株式会社ふくいのデジタルを設立しました。

地域ニュース・防災情報などの提供や、デジタル決済等の機能を有するスマートフォンアプリ「ふくアプリ」の提供を開始しています。

・「ふくアプリ」

デジタル決済（地域通貨、プレミアム付き商品券等）、デジタルクーポン、デジタルポイント、デジタルスタンプラリーのシステムを包括的に有したアプリです。2022 年 10 月には福井県の伝統工芸体感型マーケット「RENEW」で支払いに利用できるプレミアム付きデジタル商品券「RENEWPay」を実施しました。

今後も各団体・自治体・企業等と連携しながら段階的にサービスを提供してまいります。



○JURACA

2 種類の電子マネーと、福井ならではのサービスを提供する多機能型カードです。地元企業との連携を強化し、JURACA を提示することで、様々な割引や優待サービスを受けられるお店が拡大しています。



会員数	31,455 人
-----	----------

(2023 年 3 月末)

○ふくぎん VISA デビットカード

お買い物をしたらすぐに預金口座から引落しされ、現金のようにご利用いただけるカードです。口座残高の範囲内でのご利用のため、使いすぎることがなく、安心してご利用いただけます。



会員数	29,867 人
-----	----------

(2023 年 3 月末)

「お客さま本位の基本方針」に基づく取組状況

福井銀行は2017年6月に「お客さま本位の基本方針」を策定・公表し、その取組みを確実に実践するため、定期的に取り組状況を検証し、取組方針の見直しや商品・サービスの向上につなげております。

今般、2022年度の取組状況ならびに成果指標について取りまとめましたので、ご報告いたします。

※本資料で公表する数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

お客さま本位の基本方針

Fプロジェクトは、福井銀行・福邦銀行が、それぞれの理念のもと、お客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において、『Fプロジェクト「お客さま本位の基本方針」』（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

1. お客さま本位の業務運営の堅持

基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。

2. お客さまの最善の利益の追求

金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、お客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3. お客さまの最善の利益の優先の確保

お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4. お客さまからいただく手数料等の明確化

金融商品やサービスのご提供にあたり、お客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧にご説明することに努めてまいります。

5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供

金融商品やサービスにおける基本的な利益・損失その他のリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件や、ご提案する金融商品やサービスの販売対象となるお客さまの特徴、選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、各種資料を活用してお客さまが誤解無くご理解いただけるように、分かりやすく丁寧にご説明しご提供することに努めてまいります。

6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが本当にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、お客さま意向に基づくアフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。

7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

2022年度取組状況のご報告に先がけて
お客さま本位の業務運営の向上・進化に向けた取組みをご報告いたします



2023年5月より、野村証券との金融商品仲介業務に関する包括的業務提携をスタートいたしました。

本提携は、福井県内に強固な顧客基盤を有する福井銀行と、金融商品取引業務に関する豊富なノウハウや商品ラインナップを有する野村証券が、双方の強みを最大限に活かして発揮することで、人生100年時代への備えや次世代への資産承継等のアドバイスを通じて、地域のお客さまの豊かな生活や資産形成を持続的に支援していくことを目的としています。

福井の未来に、
金融の力を。

私たち「FUKUI x NOMURA alliance」は約束します。
ふたつが手を携えることで金融の力を高めることを。
そして、お客さまや地域の未来をともに創り出していくことを。
福井の未来に伴走する資産形成パートナーとして。

ふたつの力、よりそって未来へ。

START!

FUKUI BANK NOMURA

提携スローガンに込めた思い

提携スローガン「福井の未来に、金融の力を。」には、福井銀行と野村証券がもつ、それぞれの強みを掛け合わせ、相乗効果(金融の力)を発揮することで、福井県の持続可能な発展(福井の未来)を作り出していきたいという思いが込められています。

提携ロゴに込めた思い

提携ロゴのデザインコンセプトは「結ぶ」です。

古くから縁起物として親しまれている福井県の「越前水引工芸」をモチーフとしたデザインです。水引は、「縁」を結ぶものとされ、地域や職場の「絆」を象徴するイメージを託しています。表裏一体となった青と赤のラインには共生や共感を、そして、人に、街に、仕事に、寄り添い、伴走する様子を、表現しています。

福井銀行では、お客さまの大切な資産を守り育てるために、金融商品に係る業務を運営するうえでの基本的な考え方および具体的なアクションプラン(取組方針)を2022年11月に定め、公表いたしました。

- 現在、福井銀行では、福井銀行の理念、方向性、職員のあるべき姿の意識統一のため、「企業理念」や「Fプロジェクト Vision 2032」などを朝礼にて唱和し、理念や方針の浸透を図っております。

唱和による浸透

企業理念

私たちは地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活を実現します

行動理念

「誠実」…相手を大切に思い
「情熱」…強い信念を持ち、最後まで諦めず
「行動」…実際の働きで示します

今日(こんにち)の誓い

一(ひとつ)、自己を反省して人の悪口を言わざること
一(ひとつ)、四恩を感謝して吾職務に精励すること
右、今日一日の務として実行を誓ひます

※四恩とは…先祖の恩、国家の恩、社会の恩、神仏の恩

Fプロジェクト Vision 2032

私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し
「地域価値循環モデル」を実現します

お客さまの最善の利益の追求

対応原則:2. お客さまの最善の利益の追求

1. 「お客さまの最善の利益」に対する考え方

- 福井銀行では、10年の長期ビジョン「Fプロジェクト Vision 2032」において『私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し「地域価値循環モデル」を実現します』と掲げております。
- 長期にわたる取組みの第一歩として、次世代を担う子どもたちが、将来、責任ある社会の構成員となるために、金融や経済の仕組みを学ぶことが重要であると考え、幅広い年代に対して金融経済教育に関する支援を行っております。

カリキュラム	対象	実施回数 (2022年度)
金融リテラシーを身につける (生活設計・家計管理・資産運用について学ぶ)他	小学校～大学	27回

2. 福井銀行の企業文化としての定着 および

3. 「お客さまの最善の利益」を追求する行動

- 個人のお客さまに対する「お客さま理解」の具体的な行動指針として、「個人コンサルティングの基本行動」を定めており、2022年度、基本行動に基づき活動し、以下のとおり多くのお客さまと伴走いたしました。

(1) お客さまと会う(話す)

窓口、おつとめ先、ご自宅やお電話などのさまざまな場面で、お客さまとの面談機会を増やします。



(1)2022年度においては、約30,000先のお客さまと、窓口・ご自宅・おつとめ先やお電話などで、お話しする機会をいただきました。

(2) お客さまを知る

お客さまとの面談の際には、お客さまのライフステージ、家族構成、価値観につながるさまざまな情報をお聴きしております。



(2)2022年度においては、約25,000先のお客さまと、趣味・ご家族・将来に関するお考えなど、ライフステージや価値観につながる情報を一緒に考えてまいりました。

(3)2022年度においては、約4,000先のお客さまから現在考えている課題をお聴きし、将来の変化を想定した課題と一緒に考えさせていただきました。

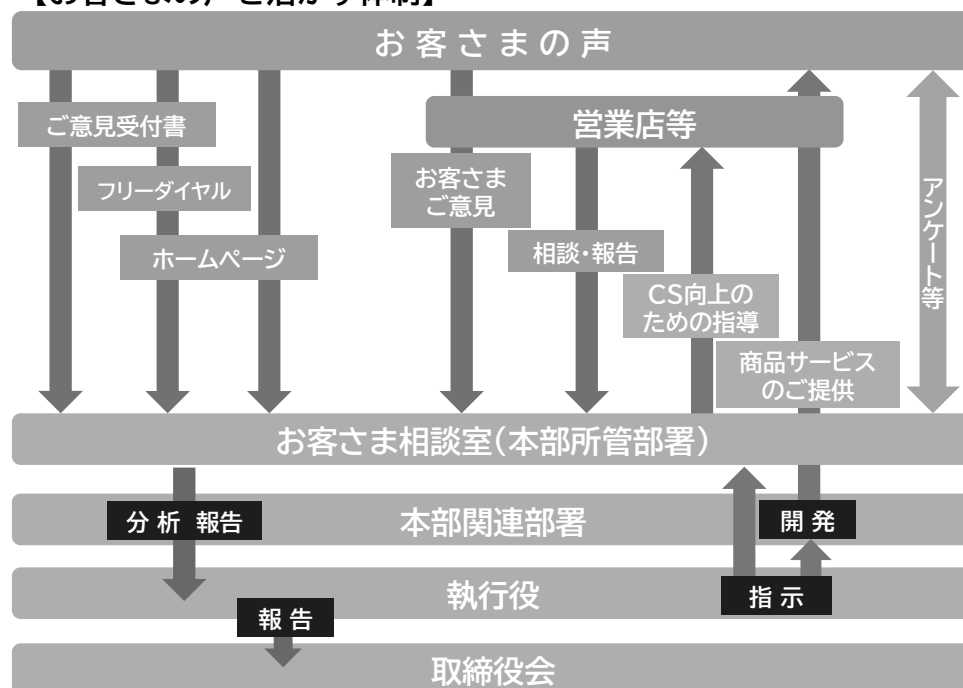
(3)で共有した課題について、お客さまの将来の変化も想定した長期目線での解決策の提供に努めております。

(4)資産運用・信託・贈与・土地活用など、幅広い解決策のご提供を行いました。
※一人のお客さまに対し、長期間にわたり複数のご提案を行うため、件数の開示はいたしません。

4. お客様からの声の収集・活用

- 福井銀行では、営業店・お客さま相談室フリーダイヤル・ホームページ等に寄せられた、苦情・ご意見・ご要望を行内にて共有しております。そのうえで適切かつ迅速に改善に取り組む体制を整備しており、本部では、お客さま本位の業務運営の実践状況を定期計測し、取組みに対する課題の把握と改善に向けた施策を立案・実行しております。
- お客さま本位の業務運営の実践とモニタリング・改善を通して、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するように引続き努めてまいります。

【お客様の声を活かす体制】



お客さまにふさわしいサービスの提供

対応原則:6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

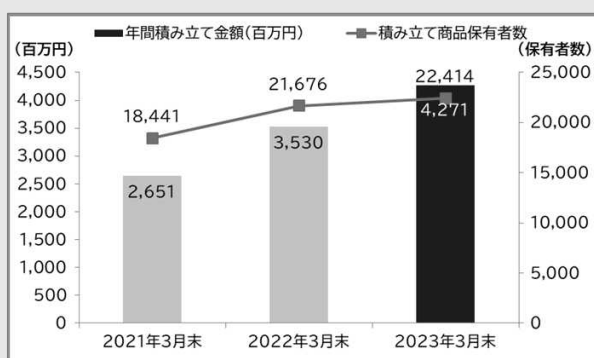
1-(1).「そだてる」ニーズ および

1-(2).「ふやす」ニーズをもつお客さまへのサービス

- 長い時間をかけて、安定的に資産形成を行うための積み立て投資や、長期国際分散投資型の資産運用プランを提案しています。

成果指標 積み立て商品保有者数と年間積み立て金額の推移

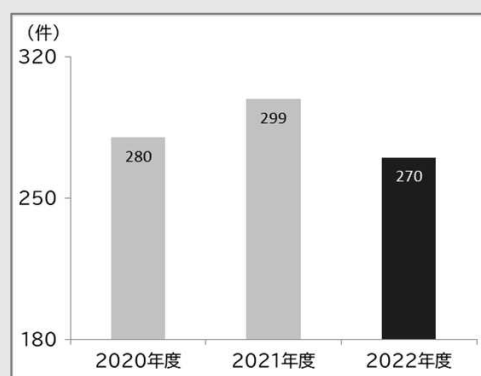
- ✓ 住宅・教育・老後資金等、お客さまの幅広い資産形成ニーズにお応えべく、各種積み立て商品のご提案に努めた結果、積み立て商品を保有されているお客さまは拡大を継続しております。



※積み立て商品…定額購入する投資信託、外貨預金

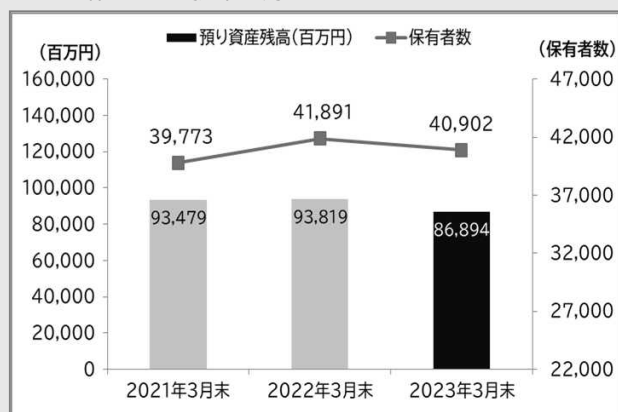
成果指標 iDeCo加入実績

- ✓ 福井銀行は、東京海上日動火災保険株式会社の『2022年度iDeCo表彰制度』において、「銅賞」および「3年連続入賞」を受賞いたしました。
- ✓ 2023年5月より、野村證券株式会社の商品の取扱いを開始し、ラインナップの拡充を行っております。



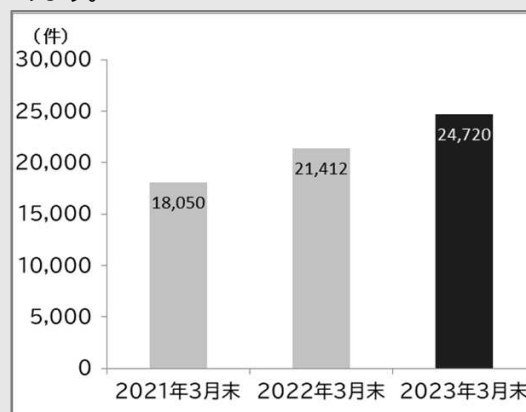
成果指標 預り資産残高と保有者数の推移

- ✓ 野村證券株式会社との提携を踏まえたお客さまの口座見直し等により、保有者数は減少いたしました。
- ✓ 今後も、お客さまのライフステージやライフプランを踏まえたご提案に努めてまいります。



成果指標 NISA口座数

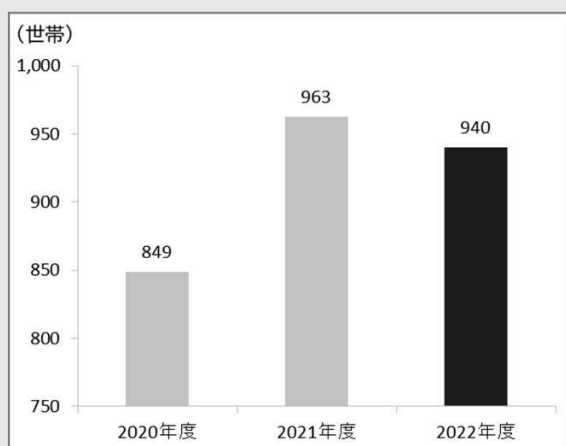
- ✓ 資産形成のご提案を行うにあたり、投資枠から得られた利益に対して税金が非課税になる制度『NISA』をおすすめした結果、NISA口座数は年々増加しております。



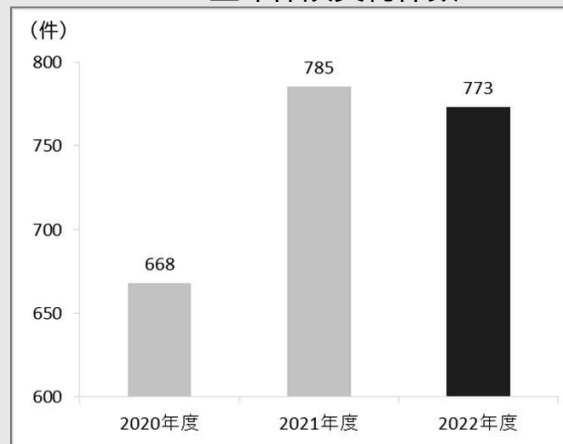
1-(3). 「そなえる」ニーズをもつお客さまへのサービス

- 土日祝日も営業している「ほけんプラザ」にて、より高度な専門知識・経験を有する職員が、お客さまとまず複数回の面談でライフステージを共有し、そのライフステージに応じて起こりうる病気やケガ・不慮の事故・介護・就労不能などの様々な健康リスクに対し、保険の仕組みや必要性、シミュレーションを用いた必要保障金額をお客さまと一緒に確認し、ご意向に沿ったオーダーメイドでの保険商品のご提案を行いました。

成果指標 ほけんプラザにおける
相談会実施世帯数



成果指標 ほけんプラザにおける
生命保険契約件数



ふくぎんプラザ福井
ほけんプラザ

ふくぎんプラザ鯖江
ほけんプラザ

ふくぎんプラザ敦賀
ほけんプラザ

1-(4). 「のこす」ニーズをもつお客さまへのサービス

- 専門的な知識やスキルを身につけた「資産トータルアドバイザー」がお客さまの「思い」を形にする解決策(資産承継サービス)のご提案を行いました。

「資産トータルアドバイザー」による
コンサルティング先数

2021年度	850先
2022年度	955先

2. 商品のラインナップ整備 および

3. お客さまへふさわしい商品・サービスを提供するためのシステム

- お客さまとの対話を通じてお客さまのライフステージや経験・知識をお伺いすることで、お客さまにふさわしいサービスのご提供に努めております。
- 2022年度においては、いつでもどこでもお取引がいただけるインターネットバンキングのご提供に加え、スマートフォンアプリのリニューアルを行い、お客さまの利便性向上に努めました。
- 2023年5月より、金融商品仲介業務における包括的業務提携先である野村證券株式会社の豊富なラインナップやサービスをご提供することにより、お客さまの高度な運用ニーズにもお応えしてまいります。

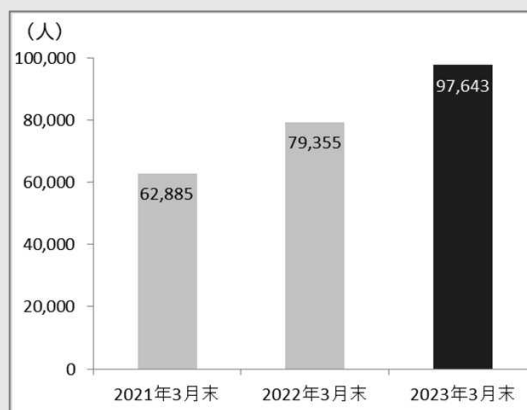
スマートフォンアプリのリニューアル

- ✓ 2022年11月、お客さまにとって使いやすく、より便利なサービス提供のため、スマートフォンアプリ「福井銀行アプリ」をリニューアルいたしました。
- ✓ ご自身の運用状況をアプリからも確認できます。



成果指標 福井銀行アプリ利用者数

- ✓ アプリ利用者数は年々増加しております。



4. お客さまへのアフターフォロー活動

- タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを積極的に実施し、きめ細かな対話を通じ、お客さまの資産形成や資産運用のご意向に対する理解をより深めていくことに努めております。
- アフターフォロー活動は、お客さまのご年齢や対象商品の変動率などあらかじめ定めた基準により、定期的に行っております。

【2022年度のアフターフォロー】	
活動期間	2022年4月～2023年3月(1年を通して活動)
対象先	① リスク商品を保有する75歳以上のお客さま ② 投資信託損失が30%以上の個人のお客さま ③ 変額個人年金保険、変額終身保険、外貨建保険のいずれかを保有されている個人のお客さま ④ 投資信託評価金額が3百万円以上のお客さま
アフターフォロー実施率	97.5% (実施先13,504先/対象先13,857先)

従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

対応原則：7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

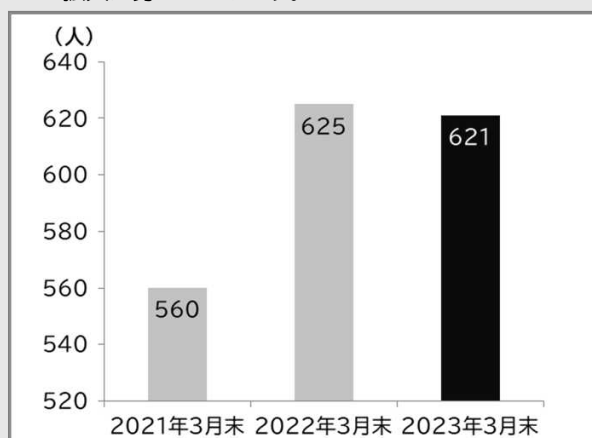
- 職員個人の人財育成においても「お客さまのためなら大変なことでも一生懸命に取り組むことで働きがい、成長を実感できる」ことをポイントに研修、教育、評価を充実させております。
- 2022年度においては、業務経験やスキルに応じ、マーケットや商品サービスについての知識を深め、コンサルティング力を高めるための研修を実施いたしました。

研修	● 営業基礎研修(対象者:1・2年目行員) :約40名受講 ● 資産トータルアドバイザー向け研修 :延べ100名受講 ● その他預り資産推進担当者向け研修 :延べ140名受講
自己啓発	平日勉強会、動画配信等

- 福井銀行では、お客さまへの最適な金融サービスの提供を目指し、専門知識の水準を向上させ、お客さまの資産形成に寄与することができる人財を育成しており、2018年4月より、お客さまへの営業力強化に繋げていくためのサポート体制のひとつとして、資格試験の「合格祝金支給制度」を設けております。

成果指標 FP資格(1級・2級)保有人数

- ✓ お客さまのライフステージやライフプランを踏まえた、幅広い視点での各種ご提案・情報提供ができる人財の拡大に努めております。



重要な情報の分かりやすい提供、手数料等の明確化

対応原則:5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供

対応原則:4. お客さまからいただく手数料等の明確化

1. 重要な情報の分かりやすい提供

お客さまへのご提案にあたっては、お客さまが様々な金融商品・サービスを比較検討できるよう丁寧な情報のご提供に努めております。

- ✓ お客さまにとって商品の比較が容易にできるツールとして、重要情報シートの使用を開始しております。

使用開始時期	対象商品
2022年3月	金融事業者編 投資信託の個別商品編
2023年1月	生命保険の個別商品編
2023年3月	外貨定期預金(為替特約付) 愛称:ふくぎんセレクトの個別商品編



2. 提供する取引チャネル

- 2022年10月～11月に、オンラインを活用した「お客さまセミナー」を実施し、幅広いお客さまにご視聴いただきました。

ラインナップ	セミナー動画 再生回数
明るい未来を切り開くマネープラン ～時代に合わせた資産の持ち方～ 人生100年時代における介護を考える すべては“家族”のため 他	1,190回

3. 手数料についての分かりやすい説明

- 手数料に関しましては、契約締結前交付書面や目論見書等でご確認いただけるように努めております。金融商品のご提供に際し、購入時手数料や信託報酬等の計算式や概算金額をお示しするなど、分かりやすい説明を行うよう努めております。

利益相反の適切な管理

対応原則:3. お客さまの最善の利益の優先の確保

お客さまへ金融商品・サービスをご提供するにあたっては、お客さまの利益を害する利益相反状況を利益相反管理規程に基づき適切に管理しております。

様々な投資運用会社や保険会社等からご提案商品を採用し、特定の会社や商品に偏ることのないよう努めております。なお、当行のグループ内に金融商品の提供会社はございません。

2022年度（投資信託販売状況）※ネット取引除く

	ファンド名称	委託会社	販売シェア
1	のむラップ・ファンド(普通型)	野村アセットマネジメント	15.5%
2	ダイワ J-REIT オープン(毎月分配型)(受取)	大和アセットマネジメント	13.1%
3	インデックスファンド225	日興アセットマネジメント	8.6%
4	のむラップ・ファンド(積極型)	野村アセットマネジメント	7.1%
5	MSグローバル・プレミアム株式オープン(為替ハッジなし)(再投資)	三菱UFJ国際投信	6.6%
6	次世代米国代表株ファンド(再投資)(メジャー・リーダー)	三菱UFJ国際投信	5.7%
7	健次グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(再投資)	三菱UFJ国際投信	4.9%
8	netWIN Gストラテジー・株式ファンド Bコース(為替ハッジなし)(再投資)	ゴールドマンサックスアセットマネジメント	3.2%
9	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)(再投資)	大和アセットマネジメント	3.2%
10	インデックスファンドNYダウ30(再投資)	日興アセットマネジメント	2.7%

2022年度（生命保険販売状況：一時払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	プレミアカレンシー3(外貨建)	第一フロンティア生命	12.2%
2	やさしさ、つなぐ2(円建)	三井住友海上プライマリー生命	11.2%
3	しあわせ、ずっと3(外貨建)	日本生命	9.3%
4	プレミアプレゼント3(外貨建)	第一フロンティア生命	8.9%
5	やさしさ、つなぐ2(外貨建)	T&Dフィナンシャル生命	8.1%
6	はじめての介護(外貨建)	三井住友海上プライマリー生命	7.8%
7	ロングドリームGOLD3(外貨建)	住友生命	6.9%
8	生涯プレミアムワールド5(外貨建)	三井住友海上プライマリー生命	5.7%
9	たのしみグローバルⅡ(外貨建)	ニッセイ・ウェルス生命	5.1%
10	ふるはーとJロードプラス(円建)	住友生命	4.0%

2022年度（生命保険販売状況：平準払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	新メディフィットA	メディケア生命	28.8%
2	健康をサポートするがん保険 勇気のお守り	SOMPOひまわり生命	11.8%
3	USドル建終身保険 ドルSmart	メットライフ生命	6.6%
4	じぶんと家族のお守り／家族のお守り	SOMPOひまわり生命	6.2%
5	健康をサポートする医療保険 健康のお守り	SOMPOひまわり生命	5.6%
6	新メディフィットPlus	メディケア生命	5.3%
7	ネオdeいりょう	ネオファースト生命	4.1%
8	新収入保障保険(払込期間中無解約返戻金型)	三井住友海上あいおい生命	3.8%
9	終身保険RISE	オリックス生命	2.8%
10	ネオdeからだエール	ネオファースト生命	2.0%

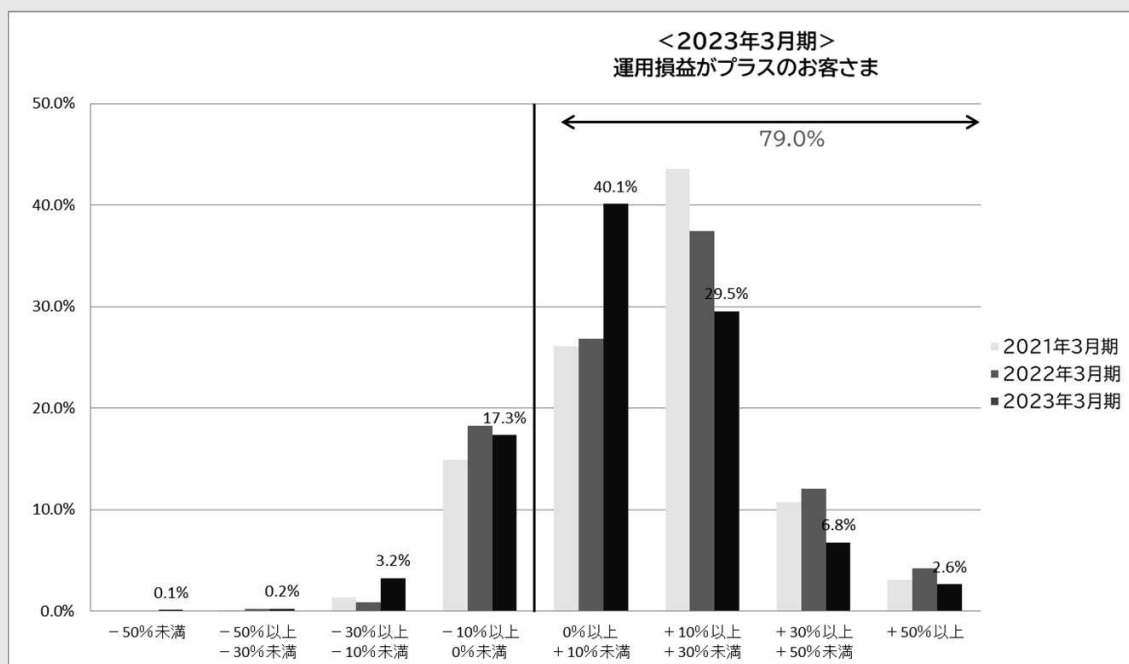
「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の報告

1. 運用損益別お客さま比率

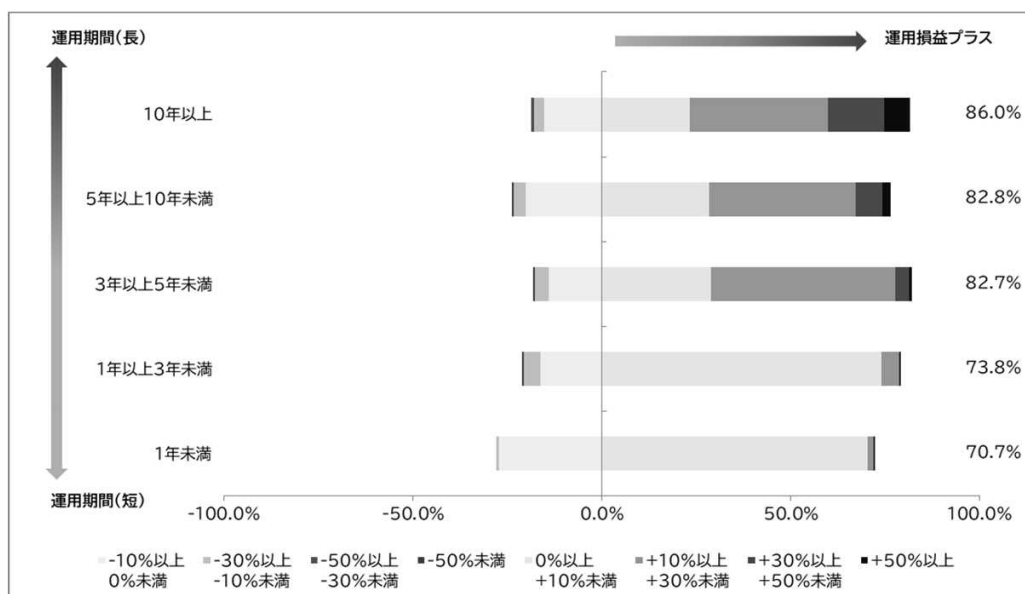
投資信託を保有しているお客さまにつきまして、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別に比率を示したものです。

共通KPI 運用損益別お客さま比率

✓ 2023年3月末時点の運用損益がプラスのお客さまの比率は79.0%です。



＜参考指標＞運用損益別お客さま比率(運用期間別)※運用期間:当行で投資信託口座を開設してから基準日までの期間
2023年3月末時点の運用損益別お客さま比率を、お客さま運用期間別にしたグラフです。
運用期間の比較的最長いお客さまの運用損益が安定する傾向があります。

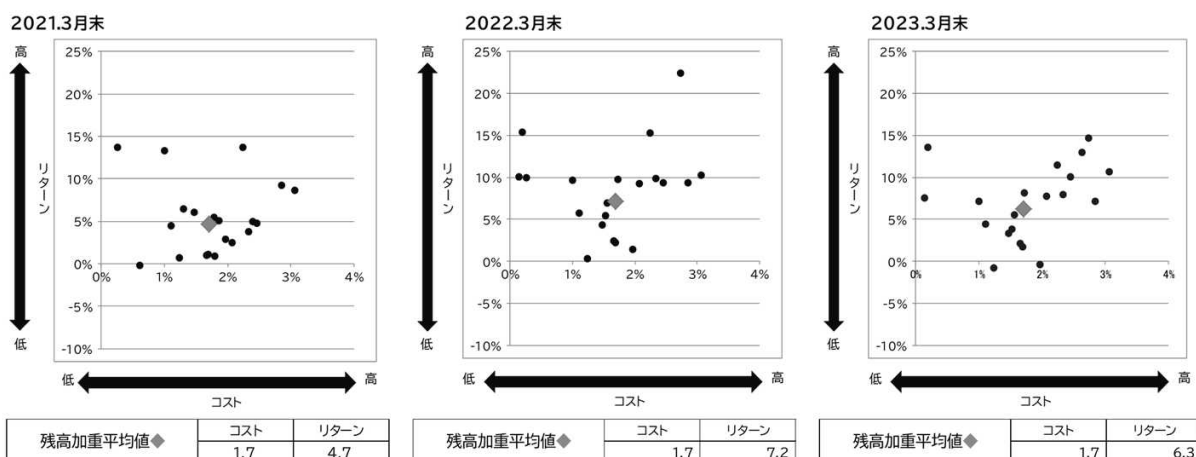


2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとのコストとリターンの関係およびリスクとリターンの関係を示した指標です。

2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コストは1.7%(前期比+0.0%)、平均リスクは14.2%(前期比+0.7%)、平均リターンは6.3%(前期比-0.9%)です。

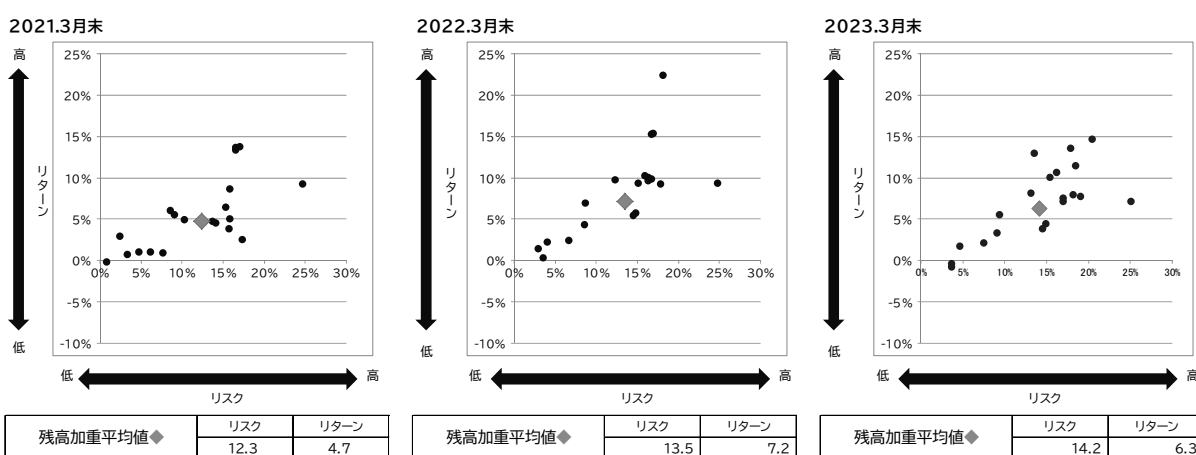
共通KPI 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



コスト 販売手数料の1/5 + 信託報酬率

リターン 過去5年間のトータルリターン

共通KPI 預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



リスク 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン 過去5年間のトータルリターン

<参考指標> 預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン(2023年3月末)

ファンド名称	コスト	リスク(5年)	リターン(年)
ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.12%	15.03%	4.30%
新光US-REITオープン(ゼウス)	2.34%	18.22%	7.87%
インデックスファンド225	1.01%	17.06%	7.03%
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)(円奏会)	1.25%	3.76%	-0.90%
グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(健次)	3.08%	16.30%	10.59%
のむらっぴ・ファンド(普通型)	1.57%	9.46%	5.40%
ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47%	15.54%	9.97%
iFree 日経225インデックス	0.15%	17.06%	7.49%
グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	4.75%	1.60%
次世代米国代表株ファンド(メジャー・リーダー)	2.26%	18.58%	11.39%
財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型(財産3分法)	1.49%	9.16%	3.25%
HSBCインドオープン	2.86%	25.15%	7.01%
のむらっぴ・ファンド(積極型)	1.74%	13.28%	8.06%
高金利先進国債券オープン(毎月分配型)(月桂樹)	1.67%	7.58%	1.99%
iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.21%	17.99%	13.46%
モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.59%	12.85%
日本好配当利回り株オープン(3ヵ月決算型)	1.54%	14.56%	3.71%
投資のソムリエ	1.98%	3.72%	-0.44%
ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	2.09%	19.16%	7.65%
netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	20.53%	14.60%

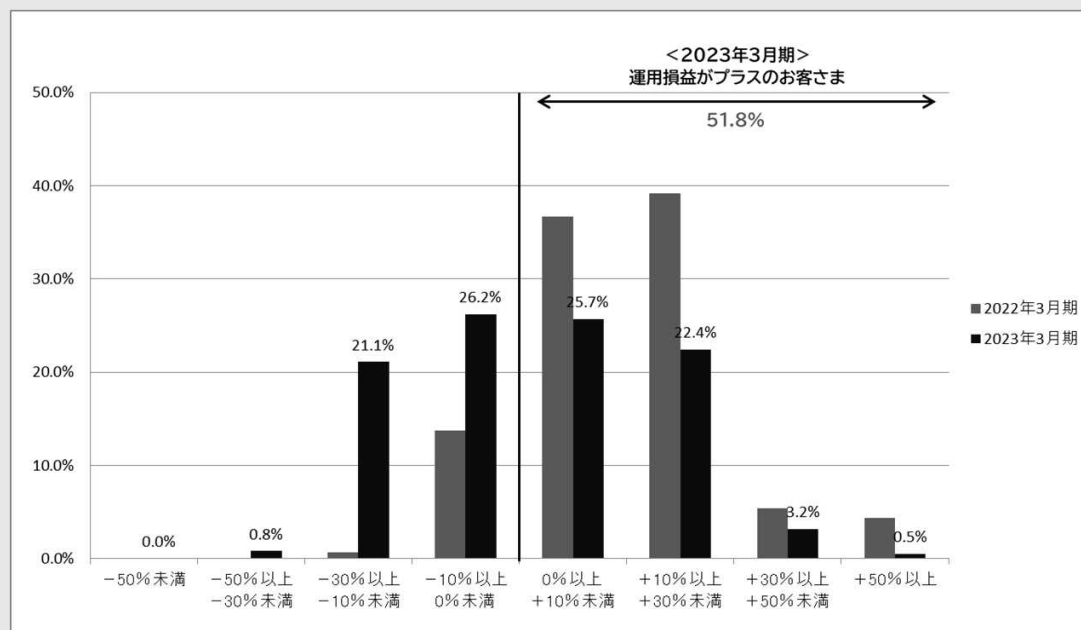
「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」の報告

1. 運用損益別お客さま比率

外貨建保険を保有しているお客さまにつきまして、基準日時点の損益と一時払保険料をもとに、契約毎のリターン(累積)を算出し、運用損益別に比率を示したものです。

共通KPI 運用損益別お客さま比率

✓ 2023年3月末時点の運用損益がプラスのお客さまの比率は51.8%です。

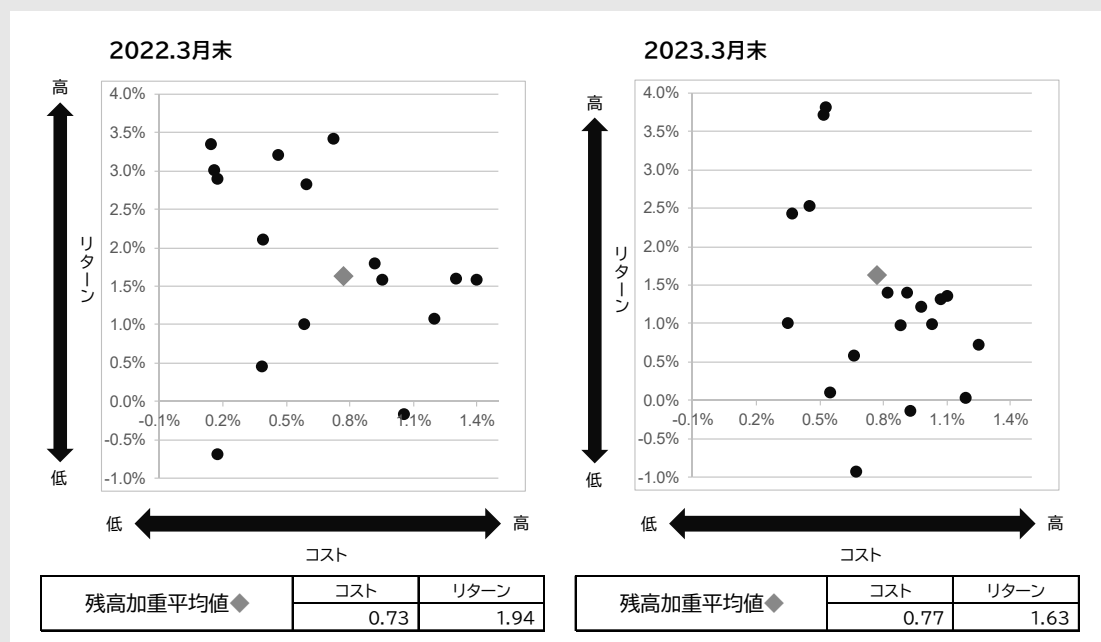


2. 銘柄別のコスト・リターン

保険契約開始から60か月以上経過した契約(基準日時点で有効であるもの)について、銘柄(商品)毎のコストとリターンの関係を示した指標です。

共通KPI 保険契約開始から60か月以上経過した契約のコスト・リターン

- ✓ 2023年3月末時点の保険契約開始から60か月以上経過した契約の平均コストは0.77%、平均リターンは1.63%です。



コスト 新契約手数料率+継続手数料率(年率換算)

リターン 契約時以降のリターン

- ✓ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ✓ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

<参考指標> 保険契約開始から60か月以上経過した契約(基準日時点で有効であるもの)のコスト・リターン
(2023年3月末)

保険商品名称	コスト	リターン
ファイブ・ステップUS	0.53%	3.81%
やさしさ、つなぐ	0.67%	-0.93%
プレミアカレンシー・プラス2	0.82%	1.40%
プレミアプレゼント	0.98%	1.22%
ライフロング・セレクトPG3	0.88%	0.98%
ロングドリームGOLD	0.91%	1.40%
アドバンテージ・セレクトPG	0.55%	0.11%
デュアルドリーム	1.64%	0.69%
しあわせ、ずっと	1.25%	0.73%
プレミアジャンプ・年金(外貨建)	1.03%	0.99%
プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.19%	0.04%
プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	1.10%	1.36%
プレミアジャンプ	0.93%	-0.13%
アドバンテージ2	0.37%	2.43%
ビーウィズユー	0.52%	3.71%
夢のプレゼント	0.66%	0.58%
三大陸	0.35%	1.00%
外貨建エブリバディプラス	1.07%	1.31%
アドバンテージセレクト	0.45%	2.53%

店舗等のご案内 (2023年7月末日現在)

福井銀行の本支店窓口は、平日午前9時から午後3時の営業となっております。(12月31日～翌年1月3日を除く)

※一部店舗では昼休業を実施しております。

● エリア統括店

福井県		
店番	本店エリア	住所・電話番号
● 100	本店営業部	〒910-8660 福井市順化1丁目1番1号 TEL (0776) 24-2030
128	福井市役所支店	〒910-0005 福井市大手3丁目10番1号 TEL (0776) 24-7600
136	県庁支店	〒910-0005 福井市大手3丁目17番1号 TEL (0776) 21-8552

店番	福井東エリア	住所・電話番号
● 101	福井中央支店	〒918-8239 福井市成和1丁目1010番地 TEL (0776) 25-7000
121	東郷支店 (福井中央支店店舗内)	
323	美山支店 (福井中央支店店舗内)	
109	さくら通り支店	〒910-0851 福井市米松1丁目1番1号 TEL (0776) 23-8545
112	勝見支店	〒910-0854 福井市御幸2丁目10番14号 TEL (0776) 23-3322
139	板垣支店	〒918-8104 福井市板垣4丁目808番地 TEL (0776) 34-3441

店番	福井西エリア	住所・電話番号
● 104	花月支店	〒910-0021 福井市乾徳4丁目4番1号 TEL (0776) 23-8547
141	花月支店学園出張所 (花月支店店舗内)	
146	飯塚支店 (花月支店店舗内)	
118	川西支店	〒910-3143 福井市砂子坂町第15号36番地の1 TEL (0776) 83-1144
131	文京支店	〒910-0017 福井市文京3丁目23番8号 TEL (0776) 24-1331

店番	福井南エリア	住所・電話番号
● 114	木田支店	〒918-8004 福井市西木田2丁目4番6号 TEL (0776) 36-1240
116	橋南支店 (木田支店店舗内)	
115	花堂支店	〒918-8012 福井市花堂北2丁目10番8号 TEL (0776) 36-3249
123	今市支店 (花堂支店店舗内)	
144	種池支店	〒918-8031 福井市種池2丁目603番地 TEL (0776) 34-2131
133	清水町支店 (種池支店店舗内)	

店番	福井北エリア	住所・電話番号
● 106	松本支店	〒910-0004 福井市宝永3丁目34番15号 TEL (0776) 22-5230
105	田原町支店 (松本支店店舗内)	
117	森田支店	〒910-0157 福井市八重巻東町12番2 TEL (0776) 56-0033
125	大和田支店	〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 TEL (0776) 54-6702
127	中央市場支店 (大和田支店店舗内)	
138	新保支店	〒910-0833 福井市新保2丁目513番地 TEL (0776) 53-3352
147	経田支店	〒910-0015 福井市二の宮2丁目14番10号 TEL (0776) 21-9677
134	花月支店新田塚出張所 (経田支店店舗内)	

店番	鯖江エリア	住所・電話番号
● 200	鯖江支店	〒916-0027 鯖江市桜町2丁目2番36号 TEL (0778) 51-2280
204	住吉支店 (鯖江支店店舗内)	
203	河和田支店	〒916-1221 鯖江市西袋町39号1番地の3 TEL (0778) 65-1555
207	東鯖江支店	〒916-0041 鯖江市東鯖江2丁目7番23号 TEL (0778) 51-8581

店番	住所・電話番号
202	神明支店 鯖江市三六町2丁目403番1号 TEL (0778) 51-2270

店番	丹生エリア	住所・電話番号
● 211	朝日町支店	〒916-0141 丹生郡越前町西田中18号2番地2 TEL (0778) 34-0456
213	越前町支店 (朝日町支店店舗内)	
212	織田支店	〒916-0215 丹生郡越前町織田42号3番地4 TEL (0778) 36-0280

店番	武生エリア	住所・電話番号
● 220	武生支店	〒915-0074 越前市蓬萊町1番1号 TEL (0778) 23-3111
223	武生西支店	〒915-0841 越前市文京2丁目3番26号 TEL (0778) 22-2780
228	武生南支店 (武生西支店店舗内)	
227	村国支店	〒915-0084 越前市村国2丁目10番28号 TEL (0778) 24-0663
229	武生北支店	〒915-0805 越前市芝原3丁目6番33号 TEL (0778) 22-8851

店番	今立エリア	住所・電話番号
● 234	今立支店	〒915-0242 越前市栗田部町11号19番2 TEL (0778) 43-0880
225	味真野支店 (今立支店店舗内)	
235	岡本支店 (今立支店店舗内)	

店番	南条エリア	住所・電話番号
● 232	南条支店	〒919-0223 南条郡南越前町東大道32号18番地の1 TEL (0778) 47-3050
231	河野支店 (南条支店店舗内)	
233	今庄支店 (南条支店店舗内)	

店番	高志エリア	住所・電話番号
● 122	松岡支店	〒910-1132 吉田郡永平寺町松岡葵2丁目103番地 TEL (0776) 61-1200
143	福井医大支店 (松岡支店店舗内)	
322	永平寺支店	〒910-1212 吉田郡永平寺町東古市12号60番地の1 TEL (0776) 63-3220
321	上志比支店 (永平寺支店店舗内)	

店番	奥越エリア	住所・電話番号
● 300	大野支店	〒912-0083 大野市明倫町8番12号 TEL (0779) 66-2600
302	大野支店三番通出張所 (大野支店店舗内)	
311	勝山支店	〒911-0804 勝山市元町1丁目10番40号 TEL (0779) 88-0003

店番	住所・電話番号	
330	丸岡支店	〒910-0245 坂井市丸岡町谷町2丁目13番地 TEL (0776) 66-2300
332	坂井町支店	〒919-0523 坂井市坂井町新庄3丁目103番地 TEL (0776) 66-0074

店番	春江エリア	住所・電話番号
● 334	春江支店	〒919-0453 坂井市春江町江留上中央4番地の13 TEL (0776) 51-0020
336	春江支店春江西出張所 (春江支店店舗内)	

店番	三国エリア	住所・電話番号
● 340	三国支店	〒913-0041 坂井市三国町覚善第5号28番地1 TEL (0776) 82-6688
341	三国支店三国本町出張所 (三国支店店舗内)	

店番	あわらエリア	住所・電話番号
● 333	金津支店	〒919-0628 あわら市大満2丁目31番5号 TEL (0776) 73-0550
344	芦原支店	〒910-4104 あわら市温泉1丁目301番地 TEL (0776) 77-2422

店番	敦賀エリア	住所・電話番号
● 400	敦賀支店	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 TEL (0770) 25-4444
401	敦賀港支店 (敦賀支店店舗内)	
403	栗野支店	〒914-0124 敦賀市市野々町1丁目118番地 TEL (0770) 25-4310
404	松島支店	〒914-0802 敦賀市呉竹町2丁目12番16号 TEL (0770) 25-6444
411	美浜支店	〒919-1138 三方郡美浜町河原市第9号15番地の2 TEL (0770) 32-1117
414	三方支店	〒919-1303 三方上中郡若狭町三方40号1番地 TEL (0770) 45-1231

店番	若狭エリア	住所・電話番号
● 420	小浜支店	〒917-0072 小浜市千種1丁目1番10号 TEL (0770) 52-2111
424	東小浜支店 (小浜支店店舗内)	
425	名田庄支店 (小浜支店店舗内)	
431	上中支店	〒919-1542 三方上中郡若狭町井ノ口第36号6番地の1 TEL (0770) 62-1200
432	おおい支店	〒919-2111 大飯郡おおい町本郷126号8番地の3 TEL (0770) 77-1080
433	高浜支店	〒919-2225 大飯郡高浜町宮崎76号2番地の1 TEL (0770) 72-3800
632	舞鶴支店 (高浜支店店舗内)	

石川県

店番	金沢エリア	住所・電話番号
● 500	金沢支店	〒920-0025 金沢市駅西本町2丁目2番2号 TEL (076) 231-4235
502	金沢支店金沢東山出張所 (金沢支店店舗内)	
504	泉野支店 (金沢支店店舗内)	
505	野々市支店	〒921-8817 野々市市横宮町5番1号 TEL (076) 248-4221
506	金沢医科大学病院支店	〒920-0265 河北郡内灘町字大学1丁目1番地 TEL (076) 286-3221
507	金沢西インター支店	〒921-8005 金沢市間明町1丁目246番地 TEL (076) 291-3441
509	上荒屋支店	〒921-8065 金沢市上荒屋1丁目319番地 TEL (076) 269-4411
511	松任支店	〒924-0865 白山市倉光1丁目105番地 TEL (076) 276-0121

店番	住所・電話番号	
521	小松支店	〒923-0926 小松市龍助町101番地 TEL (0761) 22-2801
531	大聖寺支店	〒922-0036 加賀市大聖寺一本橋町15番地の3 TEL (0761) 72-1740

富山県

店番	富山エリア	住所・電話番号
● 560	富山支店	〒939-8281 富山市今泉西部町6番地の4 TEL (076) 491-8800
562	富山南支店 (富山支店店舗内)	
561	新庄支店	〒930-0985 富山市田中町5丁目1番3号 TEL (076) 492-4161

店番	住所・電話番号	
570	高岡支店	〒933-0878 高岡市東上関329番地 TEL (0766) 24-4141

滋賀県

店番	大津エリア	住所・電話番号
● 650	大津支店	〒520-0854 大津市鳥居川町6番26号 TEL (077) 537-2910
651	草津支店	〒525-0031 草津市若竹町5番5号 草津第一ホテル1階 TEL (077) 564-7667

その他都府県

東京支店・名古屋支店・京都支店にキャッシュコーナーはございません。

店番	住所・電話番号	
600	東京支店	〒101-0044 千代田区鍛冶町1丁目8番8号 TEL (03) 3253-2861
610	大阪支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 TEL (06) 6251-8501
620	名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目18番24号 TEL (052) 221-8811
630	京都支店	〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦山町下ル手洗町678番地 TEL (075) 221-7831

その他

・小浜支店名田庄営業室を除く下記店舗等につきましては、通常の預金等の業務はお取り扱いしておりません。
・ふくぎんプラザ福井は大和田支店、ふくぎんプラザ鯖江はアル・プラザ鯖江、ふくぎんプラザ敦賀は敦賀支店にATMを設置しております。

店番	住所・電話番号	
048	振込専用支店	〒918-8152 福井市今市町66号7番地1 TEL (0776) 38-0086
191	ジュラチック王国支店	〒918-8152 福井市今市町66号7番地1 ※実際の店舗を持たないインターネット支店です。 TEL (0120) 291-191
	小浜支店名田庄営業室	〒917-0382 大飯郡おおい町名田庄久坂第3号68番2 ※毎週水曜日のみ営業する出張所です。 TEL (0770) 52-2111
	ふくぎんプラザ福井	〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 大和田支店2階 TEL (0120) 291-808
	ふくぎんプラザ鯖江	〒916-0038 鯖江市下河端町16字下町16番1 アル・プラザ鯖江2階 TEL (0120) 291-005
	ふくぎんプラザ敦賀	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 敦賀支店内 TEL (0120) 291-303
	福井コンサルティングプラザ	〒910-0023 福井市順化1丁目3番3号 福銀センタービル1階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [1]
	武生コンサルティングプラザ	〒915-0074 越前市蓬萊町1番1号 福井銀行武生支店2階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [2]
	坂井コンサルティングプラザ	〒910-0157 福井市八重巻東町12番2 福井銀行森田支店2階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [3]
	敦賀コンサルティングプラザ	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 福井銀行敦賀支店2階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [4]

営業拠点数の推移

(単位：店)

	2022年3月末日		2023年3月末日	
	支店	出張所	支店	出張所
福井県	72	6	72	6
石川県	9	1	9	1
富山県	4	-	4	-
(北陸三県)	85	7	85	7
東京都	1	-	1	-
愛知県	1	-	1	-
滋賀県	2	-	2	-
京都府	1	-	1	-
大阪府	1	-	1	-
(都市地区)	6	-	6	-
合計	91	7	91	7

店舗外キャッシュコーナーのご案内 (2023年7月末)

* 稼働日・稼働時間は設置場所によって異なります。

セブン銀行との共同ATM

福井市（中心部エリア）
福井市役所
福井西武
セワイプラザグルメ館松本店 町屋
セフレンドタウン福井
セハピリン

福井市（東部エリア）
セパリオ
ゲンキー四ツ居店前
セパロー米松店
セ福井県立病院
福井県済生会病院 心臓血圧センター
セハーツ志比口店 美山 東郷

福井市（西部エリア）
セ福井総合クリニック
福井総合病院
セ金井学園
セパロー豊岡店
セパワーセンターワッセ
セMEGAドン・キホーテUNY福井店
セA コープやしろ
セハニーやしろ店 PLANT-3 清水店 越廼

福井市（南部エリア）
春日
セ福井赤十字病院
セ福井厚生病院前
セワイプラザグルメ館福井南店
セワイプラザグルメ館江守店
セハーツ羽水店 ベル1階 ベル2階 フクビ化学前

福井市（北部エリア）
セアピタ福井大和田店
セワイプラザ パロー新田塚店 高木 中央市場 セラブリーパートナーエルパ

鯖江市
セパロー東鯖江店
セパワーシティ鯖江ワイプラザ
セハーツさばえ店
セアル・プラザ鯖江 鯖江市役所
セワイプラザグルメ館東鯖江店
セハーツ神中店

越前町
メルシ
ヤマキシ朝日店 越前町

越前市
セシビィ
セパロー武生店
セ武生楽市
セワイプラザグルメ館武生南店 武生商工会議所
セパロー国高店

池田町
池田町役場

南越前町
河野
今庄駅

永平寺町
セ福井大学医学部附属病院中央診療棟 ハニーARENA福大病院前 上志比支所

大野市
セかじ惣リブレ店
セヴィオ
ホームセンターみつわ九頭龍店 セパローこぶし通り店

勝山市
セ勝山サン・プラザ
セ福井勝山総合病院
セヤスサキホームセンター勝山店

坂井市
西長田
セアミ
セハーツはるえ 春江病院
セピアゴ丸岡店
セハニー丸岡店前 イーザ
セ三国南本町
セPLANT-2 坂井店 春江西

あわら市
セパロー金津店

敦賀市
セアル・プラザ敦賀店
セハーツつるが店
セMEGAドン・キホーテUNY敦賀店
セパロー敦賀店
セパロー木崎店 セワイプラザグルメ館敦賀店

若狭町
レピア
セPLANT-2 上中店

小浜市
セ小浜ショッピングセンター
セパロー小浜店 ハーツわかさ

おおい町
名田庄

川北町
セPLANT-3 川北店

内灘町
セ金沢医科大学病院

津幡町
セPLANT-3 津幡町

射水市
真生会富山病院

キャッシュコーナー（CD・ATM）数の推移

		2022年3月末日		2023年3月末日	
		設置箇所数	設置台数	設置箇所数	設置台数
福井銀行	店舗内CD・ATM	73	167	64	151
	店舗外CD・ATM	118	138	103	122
合 計		191	305	167	273
コンビニ提携	セブン銀行	24,368	26,253	24,989	26,913
	イーネット	12,100	12,489	12,016	12,394
	ローソン銀行	13,501	13,542	13,467	13,509

提携ATM

 FITネット FITネットATM（北国銀行・富山第一銀行ATM） 入出金手数料無料でご利用いただけます。	 セブン銀行 セブン銀行ATM（セブン-イレブン・イトーヨーカドー等に設置のATM）	 E-net コンビニATM イーネットATM（ファミリーマート等に設置のATM）
---	---	---

上記のほか、以下のコンビニ等に設置のATMでもご利用いただけます。

 ローソン銀行 ローソン銀行ATM（ローソン等に設置のATM）	 ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行ATM	 EON Bank イオン銀行ATM（イオンモール等に設置のATM）
--	--	---